

元吉町 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりを考えていくため、「元吉町まちづくり部」を立ち上げ、活動を開始しました。「元吉町まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

Vol. 7

2015年(平成27)12月

発行：元吉町まちづくり部

TEL:090-1918-4249(畠田)

部の活動に関するご意見・ご質問がありましたら、ぜひご連絡下さい。

取組

辰巳稲荷の火焚祭をのぼり旗で賑やかに!!

辰巳稲荷の火焚祭にあわせて、当日の11月24日(火)の朝から幟(のぼり)旗を掲げさせていただきました。

この日はどんよりとした曇り空でありましたが、何とか持ちこたえ、お披露目となる濃紫色の22本の幟旗を加えることで合計48本もの幟旗で祭を賑やかに彩りました。

幟旗が増えただけでなく、その準備から多くの方にお手伝いしていただくことで、祭に活気が出てきたことを実感できました。町外からもお手伝いいただき、地域の祭に広がってきたようです。

祭の片付けが終わると、「足洗い」をさせていただきました。

今回は侘助さんをお願いして、ご主人自ら「お下がり」の中から鯉やカブなどの食材を選んでいただき、「一品」として味噌汁をつくっていただきました。

よく出汁が効いた香りのいい汁と鯉とは思えないくらい臭みもなく、そしてフワフワの身。1日仕事の疲れを癒してくれました。侘助さん、ごちそうさまでしたm(_ _)m

数多くの料理店がある祇園新橋ならではの楽しみとして、「お下がりからの一品」が恒例となるよう取り組んでいきます。



紅葉と玉垣に映える色とりどりな幟旗



「料理の鉄人」風に食材を選ぶ侘助のご主人

取組

落葉の辰巳稲荷を掃除しました



晩秋となる11月22日(日)に、辰巳稲荷を中心に新橋から、かにかくに碑まで、町内外から集まった総勢23名で掃除をしました。

町内の取組として、当番で毎日の掃除を行ってはいますが、落葉の多いこの時期は手がまわりきれません。でも、一斉に掃除を始めると「あっ」という間にきれいになりました。

もちろん、すぐに落葉で元に戻るのわかっているんですが、朝からお掃除をすることで、気持ちのいい休日を過ごすことができました(^^)v

第13回意見交換会のご案内

祇園新橋の景観を守るには？

景観づくり協議会があると何が出来るのか、京都市の担当者を交えて考えます。

【日時】2015年12月8日(火)午後1時30分~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。会費も無料です。気楽にご参加ください。

元吉町に限らず祇園新橋地区の皆さまのご参加お待ちしております!

第12回意見交換会では、2015年度下半期の活動についてまとめました。また、来年度やその先の活動方針についても話し合われました。

下半期は辰巳稻荷の祭が3回あるので、その準備を中心に活動を行うことが決まり、祭を賑やかにするため、幟旗を掲げたり、地域の方に祭に関わってもらえるよう、チラシや護摩木を配ったり、足洗いを行うことになりました。また11月に辰巳稻荷周辺の落葉掃除を、3月に白川の川掃除をすることになりました。

中長期的には、祇園祭でも祇園新橋らしい関りを考えていくことや地域内の車両通行規制や電線地中化にも取り組んでいくこと等が話し合われました。



11月10日(火)「登希代の2かい」にて。参加者は7名でした。

【議事録メモ】

下半期の取組について

(おもて面取組記事と内容重複のため割愛)

中・長期的な取組について

①空家・空店対策

- ・地域としてみんなで考えておきたい問題。
- ・空き家の持ち主とのつながりがないので、地域の取組を知ってもらうためにニュース等を郵送する。
- ・京都市でも空家対策として宿泊施設(ゲストハウス)が流行っているが、近隣からの苦情が多いらしい。
- ・この地域はお茶屋さんとともに発展してきた町。どういう業種に使ってもらうかビジョンを持ちたい。
- ・地域で空家を管理できないだろうか？

②車両通行規制

- ・スピードを出す車の交通量が多く、抜け道になっている。
- ・地域として面的に考えたい。元吉町に車は似合わない。必要最低限にしたい。
- ・速度規制できないか？もしくは通行止めできないか？地域としての声をまとめていきたい。

③電線地中化

- ・京都市の予算の問題もあるが、元吉町も伝建地区として実現したい。
- ・以前検討したときはトランス(地上に設置される変圧器)の設置場所に困った。

④辰巳稻荷の玉垣の修繕について

- ・京都市に補助金を申請したところ許可された。
- ・希望者は多いが、既存の方を優先する。玉垣の数は決まっている。

⑤祇園祭等の取組について

- ・神輿へのお茶出しやその他出来ることを検討する。(今年は竹香さん・加藤さん・祇園屋さんがお世話されていたと思う。)
- ・床机などを出して賑やかにしたい。

⑥簾の共同購入

- ・伝建地区内対象の補助は申請しているので、希望者を募集していく。

⑦地区計画・地域景観づくり協議会の活用

- ・まずはその地域の将来像をみんなで考えることが大事。
- ・制度を活用して地域の将来像を実現していきたい。

その他

⑧お地蔵さんについて

- ・お地蔵さんの敷地所有者の方から移動させたい旨の問合せがあった。
- ・景観の変更を受け入れるのは、悪しき前例となるので粘り強く話し合いしてほしい。
- ・仮に移動しなければならない場合、置かせてくれる人・場所を捜さなければならない。
- ・お稲荷さんの裏や白川岸も役所に相談したが難しそう。
- ・お地蔵さんは景観の一部としての扱いだが、勝手に撤去・移動する事は禁止されている。
- ・意見交換会でも、地域の声を聞いていきたい。
- ・地蔵盆で行われていた数珠回しを来年復活させたいので、数珠の紐を点検しておく。